

授業改善書

科目名	日本文化概論 I
担当者	佐々木 あすか

授業の概要

本授業は、平安時代後期から鎌倉時代にかけての仏師と仏像の歴史を中心に取り上げながら、仏像とそれに関連する絵画、工芸品、建築などを取り上げたものである。現在残る仏像だけではなく、史料から知られる仏師の工房や仕事、仏像制作の背景にある信仰との関係などについて解説し、現在失われてしまった寺院、仏像を含めた当時の仏像制作の様子を総合的に講義したものである。

授業の問題点

アンケートのなかで、「授業外学習(予習や復習など)をしましたか」の項目が、他項目に比べ低かった。本授業では、内容が一区切りした際にコメントペーパーを実施し、数回分の授業内容を振り返る形でコメントペーパーを書く時間を設けた。実際に数回分の授業を振り返ってまとめた記述が多くみられたが、授業外学習へつなげるためのより効果的な工夫も必要と思われる。

授業改善の課題・方策

コメントペーパーについては、引き続き記入内容、実施時期・回数を工夫しながらおこないたい。これまでもコメントペーパーの実施を前週に伝えているが、復習へつなげるような呼びかけも併せてできればと考える。また、授業外学習の役割だけではなく、コメントペーパーの活用と翌週の授業内での意見紹介や質問への回答によって、学生の意見、質問をうまく引き出す工夫をおこなうことで、授業の理解をより深めることができるよう努めたい。

さらに授業外学習に関しては、授業内容をふまえたうえでの発展学習ができるような問いかけを、授業内でおこなう工夫などをしていきたいと考える。

その他